

センターだより

繋ぐ→支える→発信・リードする教育センター

第 1 0 号

平成31(2019)年 3月12日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@city.suita.osaka.jp

平成30年度 教育センター 事業報告

1 教職員研修

(1) 市教育センター研修・・・・・・211講座(予定含む) 参加者 のべ5,143人(3/1現在)

平成30年度研修講座・受講者数									
講座名(☆法定)	講座数		受講者数		講座名	講座数		受講者数	
	本年度	前年度	本年度	前年度		本年度	前年度	本年度	前年度
管理職研修	16	19	625	827	教育課題別研修	16	16	416	448
スクールリーダー研修	6	6	169	159	英語教育研修	15	15	321	339
10年経験者研修☆ ※選択研修は教育課題別研修に含む	11	5	209	203	授業づくり研修	11	10	397	378
ヤングリーダー研修	6	6	61	65	特別支援教育研修	14	15	817	854
ステップアップ研修☆	22	21	927	877	専門職研修	9	8	180	104
初任者・フレッシュ研修☆	48	38	661	775	幼稚園・小学校教育研修	1	1	43	80
※前年度受講者数は、平成30年3月31日現在の数です。 ※10年経験者研修の本年度講座数は、選択研修6講座を含む。 (小・中3講座、養3講座)					情報教育研修	36	36	317	505
					講座全体	211	196	5,143	5,614

(2) 校内研修支援

校内研修会講師・指導助言

(3) さつきらるーむ(初任者教員等相談室)(のべ17回)

研究授業等に向けての相談、初任者等への訪問指導

2 調査・研究

(1) 研究グループ活動

ア 発達理解 イ ICT活用 ウ 英語教育 エ 道德教育 オ 授業づくり カ 不登校対応 キ 健康・安全

(2) 委嘱研究学校

ア 言語活動・・・吹田南小学校、桃山台小学校 イ 道德教育・・・高野台中学校、高野台小学校
ウ その他(ICT活用)・・・佐竹台小学校、千里丘北小学校

(3) 教育研究団体への支援

ア 吹田市小・中学校教育研究会 講師謝金 イ 大阪府小・中学校教育研究会 分担金 ウ 各種研究会 分担金

3 教育資料の収集・発信

(1) センターだより(各月・特別号) 紀要113号(年度末に電子版で発行) 所報89号(次年度当初に発行)
要覧NO.25(毎年発行)

(2) 教育資料等の充実・活用、SAT SUKI ネットの活用

4 教育研究大会・教育研究報告会

(1) 教育研究大会 8月28日(火)実施 教職員384人が参加

『主体的・対話的で深い学び』の成立と充実」というテーマで講演を実施
(メイシアターで開催)

(2) 教育研究報告会 1月30日(水)午後に実施 教職員264人が参加

研究委嘱校、学研、研究グループ等の19団体が発表。(ゆいぴあで開催)

(3) 保護者啓発講演会 11月19日(月)午前に講演会を実施 保護者164人が参加
(千里市民センターで開催)



5 教育相談

- (1) 電話・来所相談 不登校、学習、発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動に関する相談に対応
- (2) 出張教育相談 全小学校に教育相談員を派遣し、子供や保護者、教職員の相談に対応
- (3) いじめのなやみ相談 (専用ダイヤル)

6 適応指導教室

不登校児童・生徒支援事業 学校復帰を目標とした「光の森」活動、「学びの森」活動の実施

7 特別支援教育

- (1) 巡回相談 幼稚園、小学校、中学校への個別の巡回相談、小学校1年生全員を対象とした巡回相談の実施
- (2) 教職員の指導力育成 特別支援教育研修 特別支援教育コーディネーター研修、事例検討研修、支援学級研修の実施
- (3) 保護者支援 保護者啓発研修、ペアレント・トレーニングの実施

8 進路選択支援

進路選択支援相談 奨学金や貸付金等の進路選択に関する相談を通した中・高生とその保護者の支援

9 情報教育

- (1) 情報教育機器等の保守運用
PC及び周辺機器の保守運用 (職員室・コンピュータ教室・図書室)
児童・生徒用タブレット及び無線LANアクセスポイント並びにプロジェクタの保守運用
- (2) SATSUKI ネットの保守運用
ア センターサーバー方式によるデータの本庁サーバ室での一元管理・保守運用
イ 統合型校務支援システム (Te-Comp@ss) の保守運用 ウ 共有フォルダの保守運用
エ 各校・園のHP管理システムの保守運用 オ 各校・園のブログシステムの保守運用
カ 保護者向けメール配信システムの構築・保守運用 (保育園・幼稚園用は今年度構築)
キ 情報セキュリティアンケートの実施
- (3) 情報教育推進支援
ア 情報教育推進委員会 (6回開催) イ 情報教育研修の実施

10 学校支援

学校等支援者ボランティアネットワーク 登録者数 (3/1現在) : 1, 125名

- (1) エス・ネット (2) スクール・ボランティア (3) 学校インターンシップ

平成31年度事業計画

1 教職員研修

- (1) キャリアステージに応じた研修の充実
初任者研修 (法定研修) 対象92名 (予定) 10年経験者研修 (法定研修) 対象110名 (予定)
5年次研修 ステップアップ研修 (Ⅰ: 2年目 Ⅱ: 3~5年目) ヤングリーダー研修 (10年研修前)
- (2) 教育研究大会
平成31年8月27日 (火) 午後 千里市民センター 「可能性を信じて 変化する素晴らしさ」 (仮)
講師 大阪体育大学 客員教授 高橋 明
- (3) 教育研究報告会
平成32年1月29日 (水) 午後 子育て青少年拠点 夢つながり未来館 (ゆいぴあ)

2 教育課題調査研究

- (1) 教育センター研究グループ 全てのグループで2年次の研究を進めます。
- (2) 研究委嘱校 6校に研究を委嘱予定

3 教育相談

- (1) 来所・電話相談 変更なし 出張教育相談 調整中
- (2) 大阪府スクールカウンセラー 配置校以外の変更なし

4 適応指導教室 「光の森」活動・「学びの森」活動・家庭訪問活動

5 特別支援教育

- (1) 小学校1年生を対象とした巡回相談の実施
- (2) 特別支援教育Co. 研修 共通研修 (4回実施予定) 選択研修 (4回以上受講)

6 情報教育

- (1) 情報教育機器の活用の推進 (2) 情報リテラシーの向上、情報セキュリティの徹底
- (3) 職員室用パソコンの更新計画

平成30年度 吹田市教育委員会委嘱研究学校 佐竹台小学校共催 授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ」

平成29年度より、佐竹台小学校は吹田市の委嘱研究学校として、「ICTを活用した授業の可能性の追求」をテーマに研究活動を進めてきました。ICTを活用した教材づくりとその授業効果について研究するとともに、筑波大学附属小学校 夏坂 哲志 教諭、関西大学初等部 尾崎 雅彦 教諭といった全国で活躍する実践家を講師に招聘し、授業スキルの向上に取り組んできました。

平成31年1月29日（火）には、同校と教育センターとの共催で、授業づくり研修「スーパーティーチャーに学ぶ」を実施しました。

当日は、明星大学 白石 範孝 教授の師範授業と講演に参加された多くの先生方が学びました。

白石先生は、2年国語科の文学教材「スーホの白い馬」の授業で、作品内容を把握させるため、作品の内容を「一文で書く」という活動を設定。子供たちは、人物、出来事に注目しながら、「スーホと白馬は、ずっと一緒にいられたのか」という問いに向き合い、中心人物の変容を読む活動に夢中になっていました。

師範授業後、御自身の授業を分析、解説ののち、これから求められる授業づくりについて御講演いただきました。その一部を紹介します。



「論理的に読む」

「子供の自由な読み方、感じ方を伝え合うことに終始する授業がある。果たして、それで、読む力は育つのか。授業は読み方を教える時間。クライマックスを自分で見つける力、全体を読み、構成を読む力を育てる。国語科の授業は、読む技術を高める時間です。国語の原理・原則の習得、それを活用して問題を解決する授業であることが大切です。教材研究においては、教材が持つ特徴や仕掛けを見つけ、そこからどのような「問い」を設定し、解決を図らせるのかを教材研究の視点としています。」

講演の後半には、説明文の仕組みを読むポイントを学ぶとともに、先生方が白石先生から提示された説明文の組み立ての分析に取り組みました。師範授業の参観、講話、模擬授業という贅沢な時間を参加者全員で共有することができました。



◆ 教育相談 ◆

1 出張教育相談（小学校）・スクールカウンセラー（中学校）

平成30年度は、市内全36小学校を対象に、相談実績に応じた年間派遣回数を設定して教育相談員を派遣し、出張教育相談を行いました。また、中学校に対しては大阪府派遣のスクールカウンセラー（以下SC）が全18中学校に対して年間35回の教育相談を行いました。相談内容は保護者、児童・生徒に対するカウンセリングや教職員との相談、校内会議における助言等です。本年1月31日現在では小学校・出張教育相談が約2,210回、中学校・SCでは6,992回の相談がありました。小学校では特に発達障がいや不登校に関して、中学校では不登校に関しての相談が多くありました。教育相談員・SCの生徒指導会議やケース会議への参加も増えています。

2 来所相談・電話相談

教育センターにおける来所相談と電話相談では、1月31日現在で、合わせて2,945回の相談がありました。主訴は不登校、発達障がい、心身の健康・保健等に関する相談が多く見られました。

◆ 不登校児童・生徒支援事業 ◆

本市適応指導教室の状況

今年度の在室児童・生徒数は「光の森」活動が26名（中学3年生7名、2年生12名、1年生6名、小学6年生1名）、「学びの森」活動は、33名（中学3年生13名、2年生11名、1年生3名、小学6年生3名、小学5年生2名、小学校3年生1名）、家庭訪問活動は、0名です。[いずれも2月25日現在。体験中児童・生徒含む]

今年度も、学校訪問や連絡会をとおして、学校・家庭・適応指導教室が連携して子供を支える体制を整え、校内の適応指導教室との併用なども含めた在籍校への部分登校につながる児童・生徒が例年以上に多くいました。

また吹田市立教育センターの適応指導教室についてのホームページをリニューアルし、学校や保護者、地域への発信に取り組みました。

平成30年度教職員研修について

■ 平成30年度研修講座と参加者数

全講座数

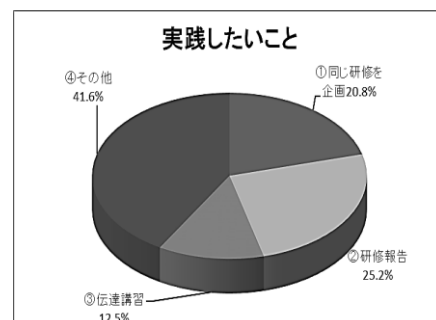
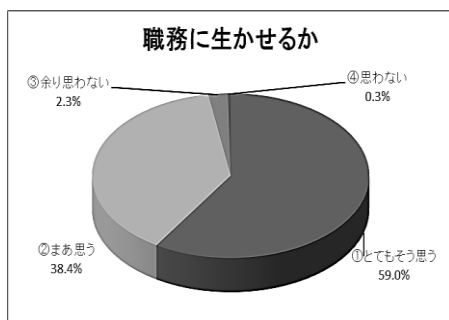
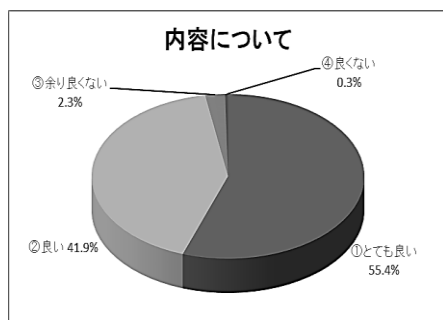
211 講座

参加者数
のべ

5,143 人(3月1日現在)

幼小中一貫教育をはじめとする吹田市の重点施策に加え、新しい教育課程やICT活用、次世代のリーダー育成等の今日的課題に応じた研修を中心に、211講座を実施し、のべ5143人の参加がありました。(3月1日現在)

■ アンケート結果概要(回収率87.9%)



研修内容については、「とても良い」「良い」をあわせて97%、「今後の職務に生かせるか」という質問に対しては、「とても思う」「思う」をあわせて98%の肯定的回答があり、昨年度と同様にとても高い評価をいただきました。(3月1日現在)

特に、初任者研修・授業づくり研修・専門職研修では、70%近くの方から「とても良い」と評価をいただきました。また、研修の事後活用について、報告に留まらず、「同じ研修を企画」「伝達講習」等、各学校・園での研修内容や情報の共有化に向けた取組みへの意識を感じました。

他にも自由記述等で、研修の進め方やテーマ設定等に係るたくさんの貴重な意見をいただきました。これらを参考にしながら、今日的な教育課題や各学校・園のニーズを踏まえ、次年度の研修を準備していきます。研修への積極的な御参加ありがとうございました。

■ 研修領域別「内容はどうでしたか？」に対する回答結果

